

令和4年第12回理事会議事録

1、日時 2022年9月26日(木) 午後1時30分～3時30分

2、会場 植野地区公民館第1会議室

3、出席理事 加藤忠雄、塚田芳夫、島田和雄、高田久治、竹村久雄、赤坂達夫、金子澄夫、
武藤純子、堀江長男、谷津正昭、五十嵐勝三

欠席監事 平岩秀男

オブザーバー 関根操子、高橋悦子、森田富美子、恩田幸子(事務局) 以上4名

4、議事録署名人の選任について

島田和雄理事、武藤純子理事を選任

5、理事会議題

議案1号 佐野ボランティア協会加入への承認について

佐野ボランティア協会は登録している団体及び個人のボランティア活動が円滑に進められるよう、また市内のボランティア活動等の中心的役割を果たし、会員相互の連携を図って、市民生活の向上に貢献することを目的の団体であり、現在14団体が加入している。この団体への加入について、賛同するかを諮ったところ、全員の理事の賛同を得たため、加入手続きを進めることで、了承を得た。

議案第2号 令和5年度植野たすけあい事業計画の基本方針について

令和5年度の各種補助金の申請にあたり、令和5年度の基本的な事業方針について、提案し、全理事の承認を得た。

まず、「子どもの未来応援基金」(独立行政法人福祉医療機構NPO支援課)令和5年度未来応援ネットワーク事業B(100万円)の申請について、子ども食堂、子ども寺子屋、子どもフリースクールの支援等について、補助金が採択された時には、5年度事業計画に計上することで、了承を得る。次に、かなえる力2023応募要項(中央労金助成制度)の補助申請をすることで、全員の了承を得た。(1年目50万円、2年目50万円、3年目100万円)発表3月末であり、事業計画には子どもたちや高齢者の居場所を確保する「いこいの家」構想について、借家等を借りて補助採択ができれば、いこいの家の運営を事業化することで、全員の了承を得た。また、市民活動モデル事業補助金(10万円2年間及びとちぎコープNPO法人助成(5万円～20万円)については居場所づくりのデイサービス運営、子どもの遊び場を作る費用を補助申請することで、全員の了承を得た。

議案第3号 NPO植野たすけあい送迎車の購入について

植野たすけあい送迎車2号車の購入について、提案があり全理事の賛成を得て承認された。

購入車種 ダイハツミライース(軽自動車)登録年 平成26.11

ナンバー とちぎ580は820

購入価格 車両価格 70,000円、名義変更料 5,500円、NPO植野たすけあいステッカー代 22,000円、車検(令和6年1月) 強制保険、任意保険 JA加入(10月第1週に車検証ができれば、手続き)、車庫証明 不要、NPO法人印鑑

その他報告事項

1、2022福祉フェスタの対応及び生活支援活動における情報交換会の発表について
全理事の承認を得た。

以上で全議案について、出席理事の承認で終了した旨、第12回理事会の議事録を作成する。

令和4年9月30日

特定非営利活動法人 植野たすけあい

理事長 議長

議事録署名人 理事

議事録署名人 理事

加藤 忠雄

島田 和雄

武藤 純子